

港湾振興便り



2017. 6

第121号

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*

目 次

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:**

1 ポートエッセイ

— 「海の広島」魅力満喫 都市連携の大切さも実感 —

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭 ～

2 トピック

●北海道初！紋別市が港湾協力団体を指定しました

(紋別市 建設部港湾課)

●全国第1号！農水産物輸出促進計画が認定されました

(北海道開発局 港湾空港部港湾計画課)

●室蘭港の輸出促進の取組が日本港湾協会企画賞を受賞

(室蘭市 港湾部港湾政策課)

●いわて・大船渡港セミナー2017の開催について

(大船渡市 商工港湾部企業立地港湾課)

●客船「にっぽん丸」おおふなと特別観光大使委嘱状交付について

(大船渡市 商工港湾部観光推進室)

●おなじみ！「ぱしふいっくびいなす」が石巻港に7回目の寄港

(石巻市 建設部河川港湾室)

●酒田港国際ターミナル岸壁延伸工事着工式を開催しました

(東北地方整備局 酒田港湾事務所)

●「にっぽん丸」酒田港に寄港

(酒田市 商工観光部商工港湾課)

●『第36回横浜開港祭』へ参加しました！！

(関東地方整備局 千葉港湾事務所・京浜港湾事務所・東京湾口航路事務所)

●港湾業務艇「まつかぜ」による親子の体験航海を実施しました

(北陸地方整備局 敦賀港湾事務所)

- 若狭和田ビーチは国際環境認証「ブルーフラッグ」を2017年も取得しました！！
(高浜町 産業振興課)
- 「みなとオアシス志摩」登録証交付式について
(志摩市 建設部建設整備課)
- 名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業着工式典を開催しました
(中部地方整備局 名古屋港湾事務所)
- 石井国土交通大臣 堺2区基幹的広域防災拠点ご視察
(近畿地方整備局 港湾空港部)
- アジア最大級の大型クルーズ船「オーバーシオン・オブ・ザ・シーズ」が北九州港に初寄港しました！
(北九州市 港湾空港局みなと振興部クルーズ交流課)
- コンテナ船「SITC KANTO」の博多港への初入港について
(福岡市 港湾空港局港湾振興部物流推進課)
- 「ダイヤモンド・プリンセス」「サファイア・プリンセス」が石垣港に初寄港
(内閣府沖縄総合事務局 石垣港湾事務所)

3 お知らせ

- ◇～海でつながるプロジェクト～ 第6回深日港活性化イベント 深日港フェスティバル
- ◇常設展「碧南の歴史と文化」 碧南のできごと2「衣浦港の歴史」を開催中

及び本計画の着実な推進を図るための支援を行っていきます。

※1) 北海道6港湾管理者(苫小牧港、石狩湾新港、紋別港、根室港、枝幸港、増毛港)



前列左から

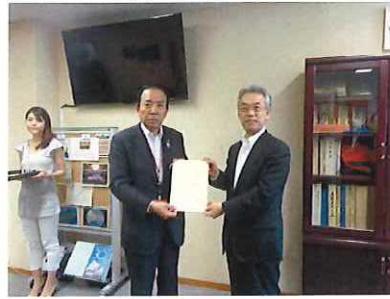
増毛町 堀町長、紋別市 宮川市長、港湾局 菊地局長、
枝幸町 村上町長

後列左から

苫小牧港管理組合 佐藤施設部長、
石狩湾新港管理組合 本多専任副管理者、根室市 石垣副市長



紋別市 宮川市長



枝幸町 村上町長



増毛町 堀町長

●室蘭港の輸出促進の取組が日本港湾協会企画賞を受賞

(室蘭市 港湾部港湾政策課)

室蘭港の港湾管理者である室蘭市は、鉄道輸送に利用されている国際規格ではない12フィートコンテナに着目し、北海道内の農水産物を室蘭港まで鉄道輸送し、そのままタイ(バンコク)へ海外輸出するシー&レール(See&Rail)の実現に向けて取組を行っています。

この取組は、国際規格ではない12フィートコンテナを活用した鉄道貨物輸送と国際海上輸送を連携させた国内初の取組であり、我が国の農水産物の輸出促進への貢献だけではなく、ドライバー不足問題や地球温暖化対策への対応が評価され、日本港湾協会企画賞が授与されました。

5月24日に神戸市内で開催された日本港湾協会総会において、室蘭市の青山市長に表彰状が手渡されました。

今回の受賞を受け、青山市長から「今後も特色ある港湾振興に努めていきたい」と意気込みが聞かれました。



室蘭市 青山市長受賞状況



室蘭市 青山市長

●いわて・大船渡港セミナー2017の開催について

(大船渡市 商工港湾部企業立地港湾課)

平成29年5月29日(月)東京都内において、大船渡港物流強化促進協議会による「いわて・大船渡港セミナー2017」を開催しました。

戸田公明大船渡市長によるプレゼンテーションでは、復興まちづくりの状況、コンテナ用上屋倉庫の整備状況、クルーズ客船誘致を活かした観光施策について説明を行いました。

また、平成25年9月に開設した国際フィーダーコンテナ定期航路については、順調に増加している取扱量を紹介するとともに、常時、静穏性の保たれた大船渡港の魅力、県内陸部との工業団地とを結ぶ道路の整備状況が着実に進んでいることなどをPRし、大船渡港の利用促進について呼びかけました。

東京大学素粒子物理国際研究センター特任教授の山下了氏による「ILC計画の最新情報と港湾の利活用」と題した講演会では、ILC計画の動向の説明、港湾の利活用やILCを契機としたまちづくりの提言がありました。

本セミナーには、約200名の参加があり、大船渡港を利用した物流に対する関心の高さがうかがえました。



戸田公明大船渡市長あいさつ



プレゼンテーションの様子

●客船「にっぽん丸」 おおふなと特別観光大使委嘱状交付について

(大船渡市 商工港湾部観光推進室)

平成29年5月5日(金・祝)、客船「にっぽん丸」が「ゴールデンウィーク 日本一周クルーズ」において、晴天のもと大船渡港に寄港しました。

当日は、大船渡港に通算19回目の寄港となった客船「にっぽん丸」へ「おおふなと特別観光大使」の委嘱状交付式を執り行いました。

「おおふなと特別観光大使」は、船舶やキャラクターなど実在の人物以外を対象に、大船渡市の観光資源の魅力及び観光情報等を広く国内外に発信し、市の知名度向上とイメージアップを図ってもらおうと、平成28年度に設置したものです。

お出迎えに多くの市民が接岸場所の野々田ふ頭を訪れる中、今後も寄港を重ねて大船渡との交流を深めてもらうようお願い、久保滋弘船長に委嘱状を交付しました。



「にっぽん丸」をおおふなと特別観光大使に委嘱しました



基石海岸を代表する絶景スポット「穴通磯」と
大船渡港に入港する「にっぽん丸」



日本一の躍る獅子頭「綾里大権現」でお出迎え

●おなじみ！「ぱしふいっくびいなす」が石巻港に7回目の寄港

(石巻市 建設部河川港湾室)

平成29年5月23日、客船「ぱしふいっくびいなす」が「初夏の東北・三陸復興国立公園クルーズ」の最終寄港地として石巻港に寄港しました。

「ぱしふいっくびいなす」は石巻港に7回目の寄港となり、客船の石巻港全寄港回数15回のうち約半分という市民にはすっかりおなじみの船であり、大漁旗による入港時は「おかえりなさい」という気持ちでお出迎えをしました。

乗客の皆様は周辺の観光地や復興状況を巡るツアーに出かけられ、思い出を刻んで頂けたかと思えます。

出港時間が夜9時ということもあり、約200人を超える市民がペンライト（100本が1分で品切れ）や打ち上げ花火でお見送りをして再会を約束しました。

来年も是非お越しく下さい。お待ちしております！



市長を先頭到大漁旗でのお出迎え



歓迎式典後記念撮影



ペンライトでお見送り



最後は花火で再会を約束

●酒田港国際ターミナル岸壁延伸工事着工式を開催しました

(東北地方整備局 酒田港湾事務所)

平成29年4月29日(土)、酒田港国際ターミナル岸壁延伸工事着工を記念して、約50名の関係者のご臨席のもと、着工式を開催しました。

今回の工事は、酒田港でのコンテナ取扱貨物量の増大に対応するため、コンテナ船の2隻同時着岸を可能とするよう岸壁を延伸し、港湾機能を強化するものです。

着工式では、津田修一国土交通省大臣官房技術参事官の主催者挨拶の後、加藤鮎子衆議院議員、大沼みずほ参議院議員、吉村美栄子山形県知事(代理 上坂県土整備部長)、丸山至酒田市長、新田嘉一庄内開発協議会最高顧問からご祝辞を頂きました。

その後、上原酒田港湾事務所長の事業概要説明ののち、岸壁延伸工事で使用する起重機船から、ジェット水流を噴射させる工事着工セレモニーを行いました。

岸壁延伸工事着工式



津田大臣官房技術参事官 主催者挨拶

岸壁延伸工事着工式



加藤衆議院議員 祝辞

岸壁延伸工事着工式



大沼参議院議員 祝辞

岸壁延伸工事着工



吉村山形県知事 祝辞
(代理 上坂県土整備部長)

岸壁延伸工事着工



丸山酒田市長 祝辞

岸壁延伸工事着工式



新田庄内開発協議会最高顧問 祝辞



上原所長 工事報告



【工事着工セレモニー】

● 「にっぽん丸」 酒田港に寄港

(酒田市 商工観光部商工港湾課)

5月3日(水)に酒田港北港地区古湊ふ頭に「にっぽん丸」が寄港しました。

着岸後に行なわれた歓迎式典では、矢口明子酒田市副市長より乗船の皆様へ歓迎挨拶が行われました。その後、弦巻伸酒田商工会議所会頭より酒田のシンボルである「酒田獅子」の記念品の贈呈、後藤仁(ひとみ)酒田市議会議長より乗客の皆様に酒田でつくられたブランド米「つや姫」の贈呈に加え、阿部茂昭JA庄内みどり農業協同組合代表理事組合長より船内でお召し上がりいただくお米が贈呈されました。

酒田港寄港時は酒田市民も稀に見る快晴で、秋田県と山形県の県境にそびえる秀峰「鳥海山」も少しの陰りもなく見ることができました。乗客の皆様は、山形県を縦断する最上川での舟下りや、酒田舞娘(まいこ)の演舞鑑賞、「西の伊勢参り、東の奥参り」と言われた羽黒山への参詣に出かけられ、山形の観光を楽しまれました。

出港時には、「やまがた 愛の武将隊」の演武とともに、羽黒山の山伏による法螺貝の吹奏、バルーンリリースにより、乗客の皆様を見送り、「にっぽん丸」は次の寄港地となる函館港へ出港されました。



にっぽん丸入港



歓迎式典参加者の集合写真



「やまがた 愛の武将隊」による演武



バルーンリリースによるお見送り



にっぽん丸と鳥海山

●『第36回横浜開港祭』へ参加しました！！

(関東地方整備局 千葉港湾事務所・京浜港湾事務所・東京湾口航路事務所)

平成29年6月2日(金)から3日(土)まで「横浜開港祭」が横浜市臨港パーク他で開催されました。本イベントは「開港を祝い、港に感謝しよう」というテーマの下、横浜市が市民への啓発活動として毎年開催しているものです。今年で36回目の開催となります。

関東地方整備局では、港湾整備事業及び海洋環境整備に関する広報活動の一環として、港湾業務艇「たかしまⅡ」による横浜港内見学会と展示ブースにて広報パネルや「べいくりん」「南本牧MC-4鋼板セル」模型を展示し、港湾整備事業等の重要性や事務所の様々な活動の広報を行いました。

また、千葉港湾事務所の清掃兼油回収船「べいくりん」と東京湾口航路事務所の港湾業務艇「うらなみ」が官庁船パレードに参加しました。

「たかしまⅡ」の横浜港乗船会には開港祭親善大使の生田さん他、合計約180名の市民が乗船しました。

展示ブースはキッズ向けの展示を強化し、港で働く乗り物の模型を展示。また、「べいくりん」による東京湾の清掃活動で回収したひととき大きなテレビに目を止めて行く方も多く、ブースには小さなお子様からご高齢の方まで、幅広い世代で昨年度を上回る合計500名以上が訪れ大盛況に終わりました。

「船上見学により港の役割が改めて良くわかりました」「ベイブリッジを通過できない大型クルーズ船を何とか横浜の中心部に！」といった市民の方々の意見を頂きました。

2日間を通じて、多くの市民の方々に港湾整備事業等の重要性を理解していただくことが出来ました。



大盛況の展示ブース前



「たかしまⅡ」横浜港内見学



官庁船パレード「うらなみ」



官庁船パレード「べいくりん」

●港湾業務艇「まつかぜ」による親子の体験航海を実施しました

(北陸地方整備局 敦賀港湾事務所)

5月21日(日)、敦賀港のきらめきみなと館とその周辺において「第35回親子のフェスティバル」が開催され、イベントの一環として、港湾業務艇「まつかぜ」による親子の体験航海を実施しましたので、当日の様子をお知らせいたします。

乗船した親子からは「まつかぜ」の普段の仕事についての質問や「楽しかった♪」「景色がきれいだった！」など嬉しい感想も聞く事ができ、思い思いに体験航海を楽しんでいただく事ができました。



まつかぜ乗船♪



興味深そうに、敦賀港を眺める子ども達

●若狭和田ビーチは国際環境認証「ブルーフラッグ」を2017年も取得しました！！

(高浜町 産業振興課)

福井県高浜町にある若狭和田ビーチは、昨年の初認証に続き2年目となる2017年もビーチ・マリナーの国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得しました。今後は環境教育面や安心・安全面がより良いものになるよう、国際的に優れた特徴あるビーチを目指し、活気のあるビーチにしていきます。

また、ブルーフラッグを活用し魅力ある地域をつくるため、「ブルーフラッグアカデミー」がはじまります。高浜町だからこそうまれる人と海との繋がりが、より深いものになるよう高浜らしいビーチカルチャーに取り組んでいきます。

詳しい情報は「BLUE FLAG TAKAHAMA」等で紹介しています。

URL <http://www.wakasa-takahama.jp/blueflag/index.html>

●港湾業務艇「まつかぜ」による親子の体験航海を実施しました

(北陸地方整備局 敦賀港湾事務所)

5月21日(日)、敦賀港のきらめきみなと館とその周辺において「第35回親子のフェスティバル」が開催され、イベントの一環として、港湾業務艇「まつかぜ」による親子の体験航海を実施しましたので、当日の様子をお知らせいたします。

乗船した親子からは「まつかぜ」の普段の仕事についての質問や「楽しかった♪」「景色がきれいだった！」など嬉しい感想も聞く事ができ、思い思いに体験航海を楽しんでいただく事ができました。



まつかぜ乗船♪



興味深そうに、敦賀港を眺める子ども達

●若狭和田ビーチは国際環境認証「ブルーフラッグ」を2017年も取得しました！！

(高浜町 産業振興課)

福井県高浜町にある若狭和田ビーチは、昨年の初認証に続き2年目となる2017年もビーチ・マリナーの国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得しました。今後は環境教育面や安心・安全面がより良いものになるよう、国際的に優れた特徴あるビーチを目指し、活気のあるビーチにしていきます。

また、ブルーフラッグを活用し魅力ある地域をつくるため、「ブルーフラッグアカデミー」が始まります。高浜町だからこそうまれる人と海との繋がりが、より深いものになるよう高浜らしいビーチカルチャーに取り組んでいきます。

詳しい情報は「BLUE FLAG TAKAHAMA」等で紹介しています。

URL <http://www.wakasa-takahama.jp/blueflag/index.html>

●「みなとオアシス志摩」登録証交付式について

(志摩市 建設部建設整備課)

平成29年6月3日(土)、三重県浜島港の浜島海浜公園で開催された伊勢えび祭式典の場で、「みなとオアシス志摩」登録証交付式が開催されました。

「みなとオアシス」は地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長にご登録いただくものです。今回、全国で96箇所目の「みなとオアシス」として「みなとオアシス志摩」をご登録して頂くことになり、地元で代々執り行われている伊勢えび祭において、国土交通省中部地方整備局 守屋副局長より志摩市 竹内市長に「みなとオアシス志摩」の登録証が手渡されました。

当日は、例年のない快晴に恵まれ、伊勢えび祭をはじめ「みなとオアシス志摩」登録証交付式にも多くの市民、観光客の皆様が足をお運びいただきました。来場者数は昨年度を大きく上回り、約3万人を記録しました。

志摩市は、伊勢えび、あわび、アオサといった海産物や、真珠貝などの水産資源が豊富であるため、今後はSea級グルメ、音楽フェスティバルなどの様々なイベントを盛り上げ、全国に志摩市の魅力を伝えていきたいと考えております。今回の「みなとオアシス志摩」の登録を契機として、浜島港、賢島港を核とした志摩市の地域振興・まちづくりを更に活性化させて参りたいと思います。



守屋副局長(左)より竹内市長(右)に
登録証を手渡される様子



「みなとオアシス志摩」登録証交付式記念撮影



「みなとオアシス志摩」の代表施設「海ほおずき」

●名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業着工式典を開催しました

(中部地方整備局 名古屋港湾事務所)

平成29年6月4日(日)、名古屋港飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業の着工式典が、名古屋港飛島ふ頭に開催されました。

当日は、大野国土交通大臣政務官をはじめ、多くの国会議員、名古屋港の港湾管理者である大村秀章愛知県知事、地元自治体首長及び港湾関係者など約60名が訪れ、来賓の方々の挨拶や名古屋港湾事務所長より事業概要の説明、鍬入れ式が行われました。式典後には、地元飛島村の子供たちなどによる神楽太鼓保存会の演奏が行われ、式典の最後をかざりました。



大村秀章愛知県知事による祝辞



鍬入れ式の様子



神楽太鼓演奏中の子供たち

●石井国土交通大臣 堺2区基幹的広域防災拠点ご視察

(近畿地方整備局 港湾空港部)

平成29年5月12日(金)大和川水防・大阪府地域防災総合演習での来阪にあわせ、近畿地方整備局管内の港湾・道路・河川の現場をご視察されました。

港湾関係では、堺2区基幹的広域防災拠点を中心に、臨港道路や耐震強化岸壁をご覧になられ、周辺の港湾・空港等拠点との位置関係や上町断層帯地震や南海トラフ地震等大規模災害に備えた広域防災拠点の役割、敷鉄板やバックホウ等の応急対応資機材をご覧いただきました。

大臣からは、堺2区基幹的広域防災拠点職員の体制や、防災拠点の支援範囲はどこまでかなどのご質問があり、365日24時間体制で備えていることや、大阪湾周辺を中心に状況に応じて対応すると説明しています。

短い時間ではありましたが、想定される大規模災害への備えについて、理解を深めていただくことが出来ました。



堺2区基幹的広域防災拠点の概要説明状況
(写真右から)

石井啓一	国土交通大臣
北側一雄	衆議院議員
佐藤茂樹	衆議院議員
田所篤博	近畿地方整備局 副局長
稲田雅裕	近畿地方整備局 港湾空港部長



堺2区基幹的広域防災拠点ご視察状況
(写真右から)

田所篤博	近畿地方整備局 副局長
稲田雅裕	近畿地方整備局 港湾空港部長
石井啓一	国土交通大臣
北側一雄	衆議院議員

●アジア最大級の大型クルーズ船「オペーション・オブ・ザ・シーズ」が北九州港に初寄港しました！
(北九州市 港湾空港局みなと振興部クルーズ交流課)

平成29年5月21日(日)朝10時、ひびきコンテナターミナルに北九州港初の16万トン級の大型クルーズ船「オペーション・オブ・ザ・シーズ」が寄港しました。乗客とクルー合わせて約6,000人を乗せたクルーズ船が着岸すると、お出迎えをしていた関係者はその大きさに圧倒されていました。入港後、約4,500名の乗客たちは112台の観光バスに分乗し、小倉城や門司港レトロなど市内観光とショッピングに出かけました。岸壁では、北九州市長や関係者が出席した歓迎式典を開催し、北九州市からは小倉城が描かれたスチールアートの記念盾と花束を贈呈。ロイ船長からは、記念盾とクリスタルの置物の返礼があり、その後VIP向けの船内ツアーが行われました。

また、クルー向けに企画したおもてなしオプションツアーには約120人が参加し、高塔山や若松恵比須神社、黒崎よさこい祭りなどで散策を楽しみました。黒崎よさこい祭りでは、屋台フードが人気を集め、日本のソウルフードを楽しんでいました。

18時、北九州市職員有志による五平太ばやし「響」のお見送り演奏が響く中、暮れゆく夕日を浴びながら、次の港の境港へ向けて出港しました。



「オペーション・オブ・ザ・シーズ」
全長：347.8m 総トン数：168,666 t



よさこいの出演者と記念撮影を楽しむクルーたち



岸壁ではロイ船長、北九州市長が参加した
歓迎記念式典を開催



船体上部のクレーンより地上を見渡せる遊具設備（展望カ
プセル）を立ち上げながら出港しました。手前はお見送り
演奏をする五平太ばやし「響」

●コンテナ船「SITC KANTO」の博多港への初入港について

（福岡市 港湾空港局港湾振興部物流推進課）

5月22日（月）、博多港に「SITC KANTO」が初入港しました。

この船は、SITC CONTAINER LINES CO., LTDと川崎汽船株式会社が共同で運航する新たなコンテナ定期航路「VTX3/JABC02」に投入されるコンテナ船で、同航路において初めて博多港に寄港したものです。

この航路の就航により、博多港と、経済発展著しい中国や東南アジア地域との貿易が、今後ますます加速することが期待されます。

初入港当日は、船内で歓迎式典を開催し、「SITC KANTO」の安全な航海を祈念して、福岡市港湾空港局と博多港ふ頭株式会社より記念品を贈呈いたしました。



博多港に初入港したコンテナ船「SITC KANTO」



「SITC KANTO」船内で一同記念撮影



福岡市港湾空港局理事の森橋（写真左）より
「博多港記念楯」を受け取る李船長（写真右）



博多港ふ頭株式会社の阪下社長（写真左）より
縁起額「福・博多人形」を受け取る李船長（写真右）

●「ダイヤモンド・プリンセス」「サファイア・プリンセス」が石垣港に初寄港

（内閣府沖縄総合事務局 石垣港湾事務所）

平成29年5月、石垣港へ寄港するクルーズ船では過去最大級となる「ダイヤモンド・プリンセス」、
「サファイア・プリンセス」がそれぞれ16日、24日に初寄港しました。

各クルーズ船の乗客は、バスやタクシーなどで石垣島内の観光や、竹富島など周辺離島観光を楽しんだ後、夜には次の港の基隆へ向け出港しました。また、16日には石垣市の歓迎セレモニーが行われ石垣市公認のマスコットキャラクター「ぱいーぐる」によるお出迎えや副船長へ初寄港の記念として花束と記念品が贈呈されました。



ダイヤモンド・プリンセス（11万5千ト）



歓迎セレモニー



「ぱいーぐる」によるお出迎え



サファイア・プリンセス（11万5千ト）

